



# 農地中間管理事業活用シンポジウム

## ～農地の貸し借りお手伝い～



奈良県の耕作放棄地は経営耕地面積の21%を占め、全国平均の12%と比べ、高い水準です。

そのような県内の耕作放棄地を解消し、農地の有効活用を積極的に推進する必要があります。

そこで、「農地中間管理事業を活用しよう！」をテーマに、農地中間管理事業とは何か、活用すればどんなメリットがあるのか、多くの方に知ってもらうシンポジウムを開催します。

みなさんの地域の5年後、10年後の農業を考えるきっかけとして、是非ご参加ください！

とき

平成29年 **3月11日** (土)

13:30～16:30 (13:00開場)

ところ

### 桜井市立図書館 研修室1

(奈良県桜井市大字河西31番地)

○交通手段

JR、近鉄桜井駅 南口より  
桜井市コミュニティバス 談山神社行き  
停留所「神之森町(かみのもりちょう)」下車すぐ  
乗車時間約5分

※駐車場の収容台数に限りがあるため、お車でご来場の方は、乗り合わせにご協力をお願いいたします。

#### バス時刻表

桜井駅南口発  
神之森町行  
9:45  
10:50  
12:50  
14:00  
15:05

神之森町発  
桜井駅南口行  
15:51  
16:55

参加無料  
先着**300名**

定員になり次第締切



※桜井市立図書館HPより転載

プログラム

### 第1部 (13:30～15:05)

#### ○基調講演

株式会社田切農産 代表取締役 **紫芝 勉**氏

●プロフィール●

1961年4月生まれ。

長野県諏訪郡原村にある八ヶ岳中央農業実践大学校を卒業後、米国に留学。

帰国後は、父親と共に畜産経営を開始。

その後独立し、2005年に設立した田切農産の代表を務める。

<田切農産の主な取り組み>

後継者のいなくなった農地の集積を積極的に進め、米や園芸作物の生産から販売までを幅広く展開。

地元企業や行政とも連携し、6次産業化を推進。

研修生や就農希望者を積極的に受け入れ、地域農業の担い手となる人材を育成。

…このような地域に根を下ろした活動が評価され、2016年1月にJA全中と日本放送協会(NHK)が主催する日本農業賞において、集团組織の部「特別賞」を受賞。



### 第2部 (15:20～16:30)

#### ○「活動事例紹介」

奈良県農林部担い手・農地マネジメント課:奈良県で取り組んでいる農地集積に関する活動についてご紹介します。

#### ○「農地中間管理事業の推進について」

奈良県農地中間管理機構:農地の貸し借りに関する制度や仕組みを詳しく解説します。

<申込方法>

別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、または持参にて問い合わせ先までお申し込みください

申込締切:平成29年3月3日(金)

<お問合せ先>

〒630-8501 奈良市登大路町30  
奈良県農林部 担い手・農地マネジメント課 農地マネジメント係  
TEL:0742-27-7615 FAX:0742-27-5351

主催 奈良県、公益財団法人なら担い手・農地サポートセンター(奈良県農地中間管理機構)